

# 議会傍聴の感想



私は、初めて町議会の中に入ったときここで話し合っ、いろいろな意見をのべるんだろああと感じていました。それで、話しを聞いていると最初は、さっぱり分からなくて、こんな難しい話し合いをしているんだなと感じていました。でも集中して聞いてみると、なんとなく分かってきて、最初難しいと聞いていたけれどちょっと分かってきました。あと、町議会では、町のことについて、ともしんげんに話し合っ、ここで税金などの話しをしているのかなあと感じていました。



私は、議会を初めて見て、私達がふだんやっている会議と違って、話し合いをするのではなく、あらかじめ自分の意見を考えていることが分かりました。私達の会議では、司会が流れを進めて、いろいろな人が意見を出す、たまには意見がなく、会議が進まないこともあるけど、大木町の会議では、司会のような人が流れを進めて、意見がある人は、手をあげて意見を言う、ように、すらすらと会議が進んでいたの、すごいなと思いました。



私は、企画集会委員会の一人です。企画は、会議をしたりします。14日、議会を初めて生で見ました。見たときの第一の印象は、『カッコイイ』でした。この感想は、ごくふつうの感想です。ですが、議会を見ていくうちに、この『カッコイイ』にも深い意味がこめられてきました。それは、生で見る議会の素のすごさでした。議員の人が質問して答える、それもすぐに答えていました。私は、「だれかが」とよく思います。だれかがやるから自分はいい。もしも議会があっても背を向けると思います。にげ道をつくってにげると思います。けれど、議員のみな様方は、ちゃんと前向きに質問をしていました。その背中を見て『カッコイイ』と思いました。だれかのための議会。けど、そのだれかをすくうための議会。とてもほこらしく、輝いていて、そして、カッコイイと思いました。



私は、いったいあの人たちが何を話し合っているのか、正直よく分かりませんでした。そのときねむけもおそってきたので、ダブルで分からなかったのですが、アクアスの工事とかいうのだけは分かりました。しかし、それだけでは全然分からないので、話し合っている人達を観察してみることにしました。すると、私達の方を向いてすわっていた方は、全員発言しているんですけど、私達と同じ方向を向いてすわっていた方は、半分も発言していませんでした。しかも、手を挙げていない方もいました。私達に分かるような話し方ではなかったの、ここで終わらせていただきます。失礼しました。

